

最期まで
自宅にいたい…

事前指示ってなに？

胃ろうにする？
しない？

認知症になっても、自分らしく最期を迎えることができる人は、どれくらいいるでしょうか。あるいは、認知症になった家族を、後悔なく看取ることができた人は、どれくらいいるでしょうか。
認知症の人の終末期の現場は、多くの課題が山積しています。さあ、みんなで考えましょう。認知症の終末期をめぐる現状をよりよくするために――。

自然な死に方とは？

どうやって
意思を確かめる？

他にできることは？

家族の意見が
まとまらない……

それでも長生き
してほしい……

7月21日
sun.

認知症の 終末期を かんがえる フォーラム 2013

会場
東洋大学
朝霞キャンパス
[埼玉県朝霞市]

その時、
どうする？

それって治療？
延命処置？

やっぱり
最後は病院？

時間 ● 13:00～16:30 [開場12:00]

参加費(資料代) ● ¥1,000

定員 ● 500名

認知症の人のターミナル医療・ケア研究会

PROGRAM

I ● 基調講演

認知症ケアの倫理——家族の代理判断を考える

箕岡真子……東京大学大学院医療倫理学分野客員研究員

II ● パネルディスカッション

私たちが終末期の事例から考えること・学ぶこと

宮永和夫……ゆきぐに大和病院院長

石黒秀喜……『上手に老いるための自己点検ノート』著者

内田勝也……認知症のひとと家族の会千葉県支部世話人

岡村真由美……ゆきぐに大和病院認知症看護認定看護師

小澤芳子……山形県立保健医療大学看護学科教授

佐多薩雄……血液循環体操普及協会理事

柴田範子……東洋大学ライフデザイン学部准教授

永島光枝……認知症のひとと家族の会千葉県支部世話人

西村美智代……社会福祉法人サン理事長



会場

東洋大学朝霞キャンパス 講義棟3階・314教室

埼玉県朝霞市5-28-20

東武東上線「朝霞台」駅、

またはJR武蔵野線「北朝霞」駅下車、

徒歩10分

参加お申し込み

FAX044-330-1744 または **terminalken@gmail.com**

お名前[ふりがな]	
お電話番号またはメールアドレス	
ご職業	
ご参加人数	名

お申し込みは先着順となります。参加証などは発行いたしません。当日、直接会場へお越しくださいませ。定員(500名)を超え、やむをえずお断りする場合のみご連絡をさし上げます。参加費(資料代)1,000円は、当日受付にてお支払い願います。

お問い合わせ

「認知症の人のターミナル医療・ケア研究会」フォーラム係 ● 尾崎純郎 ● TEL090-6796-8989